



400年以上も続く
ユーモラスな豊穰祈願

鹿兒島の方言で「精一杯跳べ」の意味をもつ「せつぺとべ」は、土をこね、害虫を踏み潰し、土地に活力を与えるための神聖な豊穰祈願として、今から約400年前から伝わるお田植え祭です。田んぼの中で、まるで泥んこ遊びをしているように飛び跳ねる若者たちのユーモラスな光景が話題となり、今では県内外でもすっかりお馴染みの祭りになりました。

田植ええどきの6月の第1日曜日。祭りは、境内での虚無僧踊り・棒踊りなどの神事を皮切りに、神田へのお下り行列では若者たちが縁起物で集落ごとの旗を付けた竹竿(シベ竿)をかざしながら歩き



1641年、日置島津家第4代島津久慶が奉納した巨大なデオドン(大王殿)が祭りを見守る。

※現在のものは2009年に作り直されたもの

ます。神田では、シベ竿を倒さないようにいかに優雅に運ぶかが競われ、そばでは若者たちが神田の中で円陣を組み酒を交わし、唄いながら勢いよく飛び跳ねます。始めはきりりと装っていた白装束も次第に泥まみれになり、祭りの盛り上がりとともに周囲は観客の歓声に包まれます。

祭りは、日置八幡神社と吉利鬼丸神社で同日に開催されます。

【日置市】

せつぺとべ

日置市指定無形民俗文化財

豊作を祈願する
日置市の伝統行事
「せつぺとべ」を
ご紹介します。

祭りの舞台

日置八幡神社・吉利鬼丸神社

開催日：6月第1日曜日 平成30年は6月3日(日)

住所：日置市 日置八幡神社と吉利鬼丸神社

交通：日置八幡神社 南九州自動車道伊集院ICから車で15分。
吉利鬼丸神社 南九州自動車道伊集院ICから車で20分。

駐車場：無料(100台)

TEL：099-292-2112(日置市日吉支所地域振興課)



日置八幡神社